



医療経営士ニュース | これからの医療現場を担う経営人材のための機関紙

# MMS NEWS

2020 7 月号  
Vol.113  
毎月1回発行(通巻113号)  
編集:日本医療企画

一般社団法人日本医療経営実践協会 〒104-0032 東京都中央区八丁堀三丁目20番5号 S-GATE八丁堀9F TEL.03-3553-2906 http://www.JMMPA.jp/

## 新型コロナ 感染拡大に伴う 緊急提言③

# 医療経営士が旗振り役となり 感染の第2波に備えよう!

緊急事態宣言の解除により、経済活動が少しずつ再開している一方、いつ起こるかわからない感染の第2波に備え、病医院には医療体制の拡充が求められている。当協会理事で、日本製薬工業協会常務理事の田中徳雄氏に、ポストコロナ時代において期待される医療経営士の役割・使命について、ご寄稿いただいた。

医療経営士の活躍の場は  
今まで以上に拡大する!

新型コロナウイルス感染症が地球規模で瞬く間に拡大・蔓延しました。人類が世界中を自由に飛び回ることを可能にした技術革新の代償とも言えますが、結果として、私たちは自粛生活を強いられ、医療においては患者さんが医療機関を受診できない、受診しにくいという不自由さがありました。われわれはパンデミック時における医療提供体制をあらかじめ想定しておくべきだったと言えます。



田中徳雄 (たなか・とくお)  
日本製薬工業協会常務理事 /  
一般社団法人日本医療経営実践協会理事

今回のコロナ禍において、日本の感染率・死亡者数の圧倒的な低さが世界から注目されました。その背景には医療関係者の献身的かつプロフェッショナルな取り組みがあったことはもちろんですが、清潔好きな国民性や日頃からインフルエンザ対策として「手洗い」「うがい」「マスクの装着」が定着していたことも幸いしたのでしょう。

また、日本には、世界に冠たる医療保険制度があることも大きな要因です。日本の医療保険制度を崩壊させないためにも、医療経営

士の活躍の場が今まで以上に大きくなることは言うまでもありません。

コロナ禍から何を学び  
未来にどう備えるか

今回、コロナ対策の1つとして「オンライン診療」が注目されました。特に慢性疾患や生活習慣病の患者さんは医療機関への受診を躊躇し、電話による相談・受診が多かったと聞きます。こうした受診行動の変化は、医療機関の経営に大きな影響を与えます。医療経営士には、オンライン診療の長所短所をまとめ、経営トップに提案するなど、一歩先を見据えた行動が求められます。

コロナ禍から何を学び、未来にどう備えるかも重要です。感染の第2波が危惧されるなか、各地域では病院同士の連携・役割分担のあり方を具体化する必要

があります。医療経営士の強いリーダーシップのもとに進めていただきたいと思っています。それが結果的に地域医療を守ることにつながります。

一方、製薬メーカーや医薬品卸などに所属する医療経営士の方は、社会全体の変化に伴い自身が担当する医療機関の役割がどのように変わっていくのかをしっかりと把握しておくことが大切です。これは医薬品の情報提供活動を適切に行ううえでも重要で、地域の実情を踏まえながら医療機関の良きパートナーとして力を発揮していただくことを期待しています。

私も日本製薬工業協会常務理事という立場から、新型コロナウイルスの治療薬、ワクチンの開発ならびに生産体制の確保に最大限の努力をしていきたいと考えています。

第9回 全国医療経営士  
実践研究大会

2020年  
**10月3日出**  
**10月4日回**

開催日時

## 東京大会

# 医療経営士の時代

新たな経営改革と地域社会貢献への挑戦  
— コロナ後に問われる“突破力”と“創造力” —

※大会テーマが一部変更になりました

参加エントリー  
演題発表登録を受付中!

創立  
10周年記念  
大会

会場 **六本木アカデミーヒルズ** 港区六本木6丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー49F

大会  
運営  
委員長 **安藤高夫** 日本医療経営実践協会関東支部支部長  
医療法人社団永生会理事長、衆議院議員

【事務局】 一般社団法人日本医療経営実践協会 ☎03-3553-2906 http://www.jmmpa.jp/seminar/zenkokutai/

第9回  
東京大会で  
最終報告会を  
実施!

# 第2回「医療経営に関する経営助成」 助成対象者3組が語る研究活動の成果

第9回「全国医療経営士実践研究大会」東京大会の2日目(10月4日)に実施される第2回(2019年度)「医療経営に関する研究助成」[指定課題①:第7次医療計画を踏まえた医療機関経営/②:医療の国際化]の最終報告会。5月末に研究活動の完了報告を終えた助成対象者3組の代表に、研究の成果と最終報告会に向けた意気込みをうかがった。

## 外来受診送迎サービスは 地域に不可欠な医療資源になる

梅本 豊 氏

医療法人恒昭会藍野病院  
地域医療連携センター長  
医療経営士3級



研究テーマ: 指定課題①

フレイル患者に対応した地域医療の  
偏在を解消する「外来送迎システム」の確立

第7回札幌大会の演題発表における「医療機関や高齢者施設からの要望に対して『入院時お迎えサービス』を提供した」という事例報告をきっかけに、高齢単身者・高齢夫婦世帯が安心して病院を受診できる「外来受診送迎サービス」という新たな医療資源の確立を目指すことになりました。

地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、行政の各事業所に窓口を担っていただき、外来受診送迎サービスを真に必要なとされている地域住民へサービスを的確に届けることは、高齢者の負担軽減や地域貢献につながります。「医師会に競合と受け止められる」「行政との連携は業務幹旋につながる」などの課題もありましたが、各事業所の役割と立場を踏まえながら解消しました。

最終報告会では、外来受診送迎サービスが各事業所の窓口・利用者において非常に高い満足度につながり、地域貢献に直結する重要な医療資源になることを伝えたいと思います。大会に参加する多くの医療経営士の皆様と議論を交わすことを心待ちにしています。

## 積極的に院外へ出て 医療経営士の認知度を高めよう!

大宮 謙一 氏

医療法人社団藤崎病院  
脳神経外科脳卒中センター長  
医療経営士1級、医療経営指導士



研究テーマ: 指定課題②

ベトナムにおける在宅医療の整備  
～日本式の医療マネジメントシステムの応用～

医師兼医療経営士として単一の医療機関のみならず、国内外で医療環境の改善に寄与することはチャレンジングであり、自身の成長にもつながると考え、研究助成に応募しました。

研究の目的は、ベトナムのホーチミン市において在宅医療を提供するHome Clinicと協働し、体制確立とマーケティング・広報を主軸とした支援を行い、持続可能な医療機関経営とともに地域における医療システム構築に寄与することです。

ベトナムは経済的には部分的に開放されているものの社会主義国であり、日本とは異なる生活・文化的背景や医療環境を一から理解する必要がありました。言語的な問題は当然ありましたが、何より研究期間後半のCOVID-19による影響が深刻で、苦勞しました。

医療経営士が勤務先の施設のみで活動することは人的資源という点でもったいないと考えます。外で働く、外で新しいことを始める、外へ発信するといった行動により医療経営士の認知度と価値が上がります。皆さんの能力を活かすため、ぜひ外に出ていただきたいと思ひます。

## 新たな知見や人脈を得て、 研究活動の成果を実感

田中 智子 氏

あけぼの診療所  
院長補佐



研究テーマ: 指定課題①

医療的依存度の高い患者を受け入れることは、  
在宅医療診療所の競争優位につながるか

日々、雑務に追われ、蓄積する実務経験を体系的にまとめられていないことをもどかしく思っていました。研究助成という枠組みをいただくことで、他院の事例を学び、客観的に自院を見つめ直し体系化することで、自院だけでなく在宅診療を行うクリニックに何か還元できればと考え、応募しました。

地域包括ケアの構築や住み慣れた地域で最期まで生活することを実現するためには、病院で行うような高度な医療的処置を在宅で実施すべきであると考えます。

研究活動を進めていくにつれ、当初の研究計画の方向性とは異なる新たに掘り下げたいテーマが見つかり、当初の計画通りに進めるか、新たなテーマを深掘りするかを迷った時期がありました。また、研究活動の後半時期はコロナ禍による支障が出て、苦勞しました。

しかし、苦勞した以上の成果がありました。新たな知見が得られたことはもちろん、今回の研究助成がなければ出会えなかった多くの強い人脈を築くことができました。応募を迷っておられる方は、ぜひチャレンジすることをお勧めします!

受験エントリーまもなく締め切り! → 7月30日(金)

# 第8回 医療経営士 1級 資格認定試験

試験日	受験形式	試験エントリー期間
第一次試験 9月6日[日]	①短文記述形式(10題・90分) ②論文記述形式(2題・90分)	7月1日(水)～7月30日(金)
第二次試験 12月6日[日]	面接試験 ①口頭試問(プレゼンテーション形式) ②個人面接	受験料支払締切日 7月31日(金)
		合格発表 一次:10月30日(金) 二次:12月24日(木)
		受験料 50,000円 ※税込、払込手数料別途 受験エントリーだけでは受験できません。受験料のお支払いと職務経歴書の提出が完了した時点で受験申し込み完了となります。
		試験会場 東京(中央区内)予定



支部研究会の  
新しい形態

支部担当者に聞く運営のポイントとメリット

# オンラインセミナー 全国支部で続々開催!

4月7日(火)の緊急事態宣言を受けて、全国の支部研究会の多くは中止となったが、5月ごろからオンラインセミナーに切り替えて開催する動きも始めている。今後、研究会の新形態として拡充されていくものと考えられるが、一方で、運営の注意点や課題も見えてきた。そこで、実際にオンラインセミナーを行った北海道支部と中国支部に、運営のポイントとメリット・デメリットを聞いた。

## 北海道支部 広域の北海道での活用度は高い

北海道は、コロナウイルス感染者数が全国4位と多いため、対面での感染リスクを下げるのが求められている。そこで、5月29日(金)に予定していた「ヘルスケアマネジメント合同研究会」は、北海道支部で初めてのオンラインセミナーに切り替えて開催。通常は有料(会員500円、一般1,000円)だが今回は無料とし、47人が参加した。

**使用ツール**

▶「Zoomウェビナー<sup>※</sup>」

**運営のポイント**

- ▶参加URLの送信時に、間違いがないかよく確認すること。
- ▶操作がわからない人へは、丁寧な電話説明が必要。  
→参加者からは「オンラインはまだ少し難しい」との声もあった。
- ▶「Zoomミーティング」と「Zoomウェビナー」では、参加者の表示画面が違うので注意。

**メリット**

- ▶通信環境さえあればどこでも受講できるので、広域の北海道でのセミナーに適していると思う。
- ▶これまで参加してもらえなかったヘルスケア企業の方々などが増えたので、新規

開拓につながる。

- ▶講師と1対1でセミナーを受けている感じになり、参加者からの質問も出やすい(質問の質も高いと感じる)。  
→参加者からは「資料が先に送付されていると質問がしやすい」との意見があった。
- ▶気軽に参加・退出できる。

**デメリット**

- ▶臨場感が伝わらない。
- ▶参加者の雰囲気や反応がわかりづらく、質問か感想かの判断が付きづらい。
- ▶参加者のネット環境によって、途中で映像や音声途切れてしまうことがある。
- ▶操作を間違えると、運営側の声が聞こえてしまうなど、運営面の操作不備に注意が必要。
- ▶“Zoom荒らし”への対処方法がわからない。

**今後の取り組み**

7月11日(土)に行う「北海道支部実践研究大会」も、オンラインでの開催を予定している。「“顔”と“考え”の見える連携づくりを目指して」をテーマに、道内の医療経営士が実践活動や問題解決に向けた取り組み成果を発表し、それを参加者間で共有することで、経営力の向上や経営課題の改善を目指す。同時に、第9回「全国医療経営士実践研究大会」東京大会の支部代表候補の選出も行う予定だ。

※「Zoomミーティング」はホストと参加者が同様の画面を共有しビデオ通話の形で進行するが、「Zoomウェビナー」はホストと視聴者という関係性で構成され、ホストを中心に進行する。ホストの操作によって一部の視聴者が参加者(パネリスト)となり、パネリスト以外の視聴者の顔や名前は表示されない。

## 中国支部 参加者や講師との交流が希薄になる点が課題

中国支部では、5月に入って支部研究会をオンラインセミナーに変更。6月6日(土)に開催した「一弁護士×医療経営士と考える医療・介護の現在と未来一人材の確保と定着」では、オンラインでのセミナー経験が豊富な講師の牛見和博氏からアドバイスをいただき、運営に役立てた。

**使用ツール**

▶「Zoomミーティング」

**運営のポイント**

- ▶参加者へのお問い合わせ事項を「事前連絡」としてまとめ、1週間前に送付。  
→スピーカーとマイクのテストをしてほしい、マイクはミュートに、ビデオはオンにしてほしい、チャット機能を使用すれば途中で質問を送ることが可能など。

**メリット**

- ▶新型コロナウイルス感染防止対策に有効。  
→従来の会場開催からオンラインに切り替えたところ、参加申込が増加した。
- ▶全国から参加できる。  
→中国地方以外からも多数の参加があった。今回の参加者の半数は関東地方から。

**デメリット**

- ▶参加者の反応がわからない。  
→「事前連絡」で、できるだけビデオをオンにして参加してほしいと伝えていたが、実際には、多くの方がビデオをオフにして参加された(パソコンにカメラが付いていない人もあり)。講師、運営側としては、参加者の反応が見えたほうが進行しやすい。
- ▶交流が希薄になる。  
→従来の研究会では、講義後に講師や参加者同士の交流(名刺交換など)が自然に行われていたが、今回のオンラインセミナーではそのような機会はつくれなかった。Zoomのグループ分け機能を使ってグループワークを行うなど、改善策を研究していきたい。

**今後の取り組み**

他地域の研究会に気軽に参加でき、移動時間や費用も抑えられるので、参加者のメリットは大きいと感じた。

今回、オンラインセミナーに挑戦したことで、そのメリット、デメリットに加え、従来の形の研究会のメリット、デメリットも感じることができた。今後はオンライン、オフライン、双方のメリットを活かしたテーマや内容を検討し、両立てで企画していきたい。

次代を担う  
医療経営人財を  
サポートする  
“医療経営士応援マガジン”

# 月刊医療経営士

7月号  
好評発売中!!



主な内容

- [特集] **新型コロナに立ち向かえ! 現場で奮闘する医療経営士の姿を追う**
- [Special Message] **小熊豊氏**(公益社団法人全国自治体病院協議会会長)
- [チーム医療経営士] **Ubie株式会社**
- [リーダーの肖像] **中村秀敏氏**(医療法人真鶴会小倉第一病院理事長・院長)
- [スキルアップ講座] **データから考えるポストコロナの病院経営**

定期購読

- 選べる2つのコース ※いずれも税込、送料無料
- ① 会員限定年間購読コース  
年間12冊(9,000円)  
6冊(5,280円)
  - ② 月額払い購読コース  
1冊(880円)
- 会員の方は  
年間購読が  
お得です!

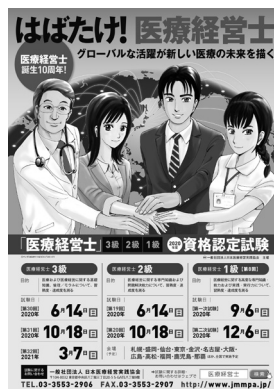
## 事務局掲示板

2020年度試験ポスターが完成  
掲示していただける会員の方を募集中!

2020年度「医療経営士」資格認定試験ポスターを掲示していただける会員の方を募集しています。

ご希望の方は、「医療経営士試験ポスター希望」と件名をつけ、お名前、所属先、肩書き、送付先住所、電話番号、必要部数をご明記の上、下記お申し込みメールアドレスへご連絡ください。皆様のご応募をお待ちしています。

【お申し込み】E-mail: info@jmmpa.jp



## 事務所移転および電話番号変更のご案内

当協会は6月8日(月)付で事務所を移転しました。つきましては、住所・電話番号が下記の通り変更となりますので、お手数ですがご登録の変更など、よろしくお願いいたします。

【新事務所】 〒104-0032 東京都中央区八丁堀三丁目20番5号  
S-GATE八丁堀9F

【電話/FAX番号】 TEL:03(3553)2906 / FAX:03(3553)2907

## PICK UP 研究会

7/18、9/12、11/21 東北支部

ともに学び、ともに考え、ともに成長する

石井ゼミ in 東北  
2020(全3回)

東北支部では、多摩大学医療・介護ソリューション研究所副所長の石井富美氏が講師を務め、毎年好評の「石井ゼミ」を全3回で開催する。

各回のテーマは、第1回「2040年の病院と経営人材のあり方とウィズコロナ時代の病院経営を考える」、第2回「中長期事業計画の作り方と目標値(KGI)と業績指標(KPI)の設定」、第3回「事業計画の進め方と人材育成」。コロナ後の病院経営を展望し、経営人材に必要なスキルを学ぶ。

- 日時 7月18日(土)、9月12日(土)、11月21日(土) 各回14:00~17:00
- 会場 仙都会館(宮城県仙台市)
- 参加費(税込) 会員:全3回9,000円/各回4,000円  
非会員:全3回15,000円/各回6,000円
- お問い合わせ先 日本医療経営実践協会東北支部  
TEL:022-281-8536(担当:三浦、浅石)

7月11日  
ZOOM使用による  
リアルタイム配信

第9回東京大会における  
地域支部代表者講演の候補を選出!  
「北海道支部実践研究大会」をWEB開催

[左]大会運営委員長の田中繁道氏 [右]基調講演の中村彰吾氏

北海道支部では、10月3日(土)・4日(日)に開催される第9回「全国医療経営士実践研究大会」東京大会における地域支部代表者講演の候補を検討するとともに、実践の成果を参加者間で共有し、病院等の経営力向上や経営課題の改善に貢献することを目的に、「2020年度医療経営士研究会 北海道支部実践研究大会」を開催する。

大会テーマは「顔」と「考え」の見える連携づくりを目指して」。北海道支部支部長の田中繁道氏(溪仁会グループ最高責任者)が大会運営委員長を務める。さらなる飛躍を目指す医療経営士は奮ってご参加いただきたい。

## 【大会概要】

【開催日時】 7月11日(土)13:00~16:30(予定)

## 【プログラム】

- 基調講演 13:10~14:00  
「激動の時代を生き抜くこれからの医療経営士の役割(仮)」  
中村彰吾氏(公益社団法人医療・病院管理研究協会理事)
- 演題発表 14:10~  
医療経営士による口頭発表(1演題15分)
- 特別対談 15:30~  
「顔」と「考え」の見える連携づくりを目指して」  
医療経営士1級取得者による特別対談

【参加費(税込)】 会員2,000円/一般3,000円

【お問い合わせ先】 日本医療経営実践協会北海道支部  
TEL:011-223-5125(担当:緑川)

## 日本ヘルスケア経営学院 公開講座 WEBセミナー

医療業界で働くための基本を身につけよう!

## 「新入職員研修WEB講座」好評配信中!

WEB  
セミナー  
概要

## ●各回テーマ:

- 第1回 「医療」事業に関わる基本
- 第2回 医療制度の基本
- 第3回 医療業界の現状
- 第4回 医療と介護
- 第5回 医療機関内部の経営構造
- 第6回 医療事業の今後

- 講師 師: 石井富美氏  
(多摩大学医療・介護ソリューション研究所副所長)
- 受講料(1IDにつき): 各回1,000円+税  
全6回セット4,500円+税
- 講義時間: 各回約20分  
※講義終了後に内容の理解度が測れる「確認テスト」付き

講師を務める  
石井富美氏



【お問い合わせ先】日本ヘルスケア経営学院 事務局(日本医療企画内) TEL:03-3553-2862 http://hcml-s.net/